こんな 動でで

地震にも負けない地域力で、子ども達の学びと成長を!

熊本県益城町

●活動名

●関係する学校名

益城中央小学校 地域学校協働活動 益城中央小学校

協働活動 16 学級 平成 以前 年度 1 校 442 児童 **学級**数 開始年度 元重 生徒数 学校支援活動 活動区分 放課後子供教室 配置人数 配置人数 統括的な地域学校協働 地域学校協働活動 活動推進員等の数 推進員等の数 2人 指定·設置日 延べ登録人数 企業 学校運営協議会 アの数 等との連携 平成26年4月1日設置 169 参考URL

校内企画会議 ・校長 学校関係者計 IIII 文 · 地域教育難談会 · 学校内部評価 (保護者·児童·職員) 学校運営協議会 学校応援団(地域学校協働活動推進事業) 鼬 Will state 民生委員・安全協会・老人会・公民館・農協・地域人材 区長会・地域ボランティア個人・団体・PTA・教育委員会

●連絡先 益城町教育委員会 生涯学習課

096-286-3337

公民館講座を受講した地域住民が,ボランティアとしてその成果を学校支援活動に活かしている。本活動は,公民館活動の充 実, 地域教育力の向上を狙っており, 本町が目指す「知の循環型社会」を具現化している。学習支援(そろばん, 習字, 硬筆等)や 総合的な学習の時間をはじめ,様々な分野で活動を実施している。地域学校協働活動推進員のうち1人を教育委員会に配置, また小学校には地域学校協働活動推進員を常駐に近い形で配置し、学校と地域住民がスムーズに連携協働した活動を展開して いる。

● 活動の特徴・工夫

【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

- ①公民館講座受講生が,様々な分野において地域学校協働活動を展開。
- ②放課後子供教室で、子どもたちの学習向上に資するそろばん教室(支援員は公民館講座そろばん受講生を中心に組織)を実施。
- ③国語、理科、社会、算数で学習支援、生活科、総合的な学習の時間で体験活動支援、その他各教科で傾聴ボランティアを実施。
- ④3年生の総合的な学習の時間で、地域住民と共に防災マップを作成し、地域へ提供。
- ⑤避難所生活をしている方の支援で朝顔を栽培し、共に朝顔鑑賞会を実施。またソーイングボランティアの方々にエプロン作りの御礼として、交流会
- ⑥福祉課主管「地域サロン」で、地域の高齢者との交流を深めるための自己紹介の工夫(:私は○○の孫の○○です。)

【実施に当たっての工夫】

- ・学校配置の推進員は、学校教育課の補助職員配置事業の職員と兼務することで、常駐に近い形で活動し、地域の情報を提供することにより、学校のニーズを引出しやすくしている。
- ・推進員2名、教頭、教育委員会担当者による会議を実施し、成果、課題、共通実践内容の共有ならびに今後の対応について検討している。 ・推進員が学校支援ボランティアへの支援要請文書を作成しており、教職員の負担軽減になっている。
- 本部を含むボランティア組織等との連携や地域の人材の効果的な活用方策の検討を行っている。
- ・「熟議」「協働」「マネジメント」をキーワードにした「地域とともにある学校」づくりのための取組の検討を行っている。
- ・本協議をが、学校教育活動に積極的に参画している。例えば「丸付けボランティアが算数の学力向上につながっていない」との意見があり、「丸付けボランティア」の在り方に関して学校職員と協議を行い、新たな丸付け方法を考案した。また「当町の歴史的偉人を総合的な学習の時間等を活用し学ばせたい」という意見に対して、放課後子供教室で偉人講座を実施した。

● 地域学校協働活動を実施しての効果・成果

・ボランティアとして支援に参加した地域住民は学習成果の活用の場だけでなく,子どもとの交流や生きがいづくりとなっている。また,きめ細やかな指 導により、子どもたちの学力や技能、意欲の向上が見られる。学校は地域の人的、物的資源を活かした能動的な授業を展開し、地域は学校への理 解がより深まっている。

・「平成28年熊本地震」の際には、益城中央小学校も避難所として使用されたが、従来の学校支援活動により、地域と学校に深い繋がりが生まれて いたため、地域住民と学校の連携が上手くいき、避難所運営も地域住民が主体となって行われた。地域学校協働活動による取組が、災害時にも活 用された場面であった。益城中央小学校の地域学校恊働活動の取組は、今後地震でつながりが失われたコミュニティ再生の中核とも成り得る。 ·平成29年度には,文部科学省,県内外の自治体よる視察も行われている。

● その他

年度末に一年間お世話になったボランティアの方に集まっていただき,「ボランティアの集い」を開催している。学年ごとに、ボランティ アの方への御礼の手紙渡しや合唱等の発表等を通して、地域との交流を深めている。



科 傾の 聴授 ボ業 ラで ンの テ 1 ァ മ 様 子



そ ろ ば ん 授 業 の 指 導 支 援